

一 般 質 問

○議長(岩館俊幸君) 日程第9 一般質問。

これより一般質問を行います。

一般質問につきましては、お手元に配布の通告書によって行うことにいたします。

はじめに、3番 佐藤悟さん。

○3番(佐藤悟君) 3番 佐藤です。一般質問を行います。

まず1として、町有林の運営管理についてです。

その1として、人工林641haの内、今後も利用間伐として継続される考えなのか町長の考えを伺います。

2といたしまして、利用間伐は、町有林伐材売払収入として計上されており、我がまちとして貴重な財源であると考えています。杉は、50年、60年が伐期であると言われております。

計画的な間伐、そして皆伐、植林、これが山を育てる基本であると思っています。町有林の運営管理計画の策定を含め新しい山づくりの考え方について、町長の見解を伺います。

○議長(岩館俊幸君) 町長。

○町長(大森伊佐緒君) 3番、佐藤悟議員のお尋ねにお答えいたします。

町有林の運営管理についてのお尋ねでございますが、まずはじめに利用間伐は国の補助制度で平成23年度の改正により、間伐材を搬出しない場合は補助対象とならないこととなっております。当町では、この補助制度にあわせて、利用間伐を行っているところでございます。

補助金が充当されない場合は、間伐事業の採算が取れない場合もありますことから、補助制度の対象となるよう、また、木材の有効活用という観点からも、今後も引き続き利用間伐を行ってまいります。

次に、町有林の中長期的整備方針といたしましては、現在、従前の森林施業計画にかわる森林経営計画を策定中であり、この中で、今後5年間における間伐などの伐採、造林、保育等に関する事柄も記載することとなっております。町といたしましては、この森林経営計画に基づき、今後も利用間伐を中心に行いつつ、伐期を迎えている林班や樹種につきまして、皆伐ののち植栽を行うなど計画的に事業を展開し、町有林の管理を行ってまいります。

○議長(岩館俊幸君) 3番 佐藤悟さん。

○3番(佐藤悟君) ただいま町長のほうから答弁をいただきましたが、ほぼ私もそのような考えを持っているわけですが、あくまでも町長の考えといたしましては、現在の現行の補助制度がある限りその補助を活用しながら継続的にやっていくというようなことのようにございます。私は、町有林の最終間伐というのは10アール当たり、最後は80本ないし100本が最終間伐だというふうに言われているわけですが、今後この間伐を継続しながら皆伐と両方考えていくべきではないかなというふうに思うわけですが。

そのためには、帳簿上の委託ではなく、現地を十分確認して委託されるようにしなければならないのではないかというふうに思いますが、町長はそういう考えがあったら再度ご答弁を願いたいと思います。

○議長(岩館俊幸君) 町長。

○町長(大森伊佐緒君) 佐藤議員がお尋ねのように、現地の確認を十分図りながら進めることは極めて大切でございますので、ご指摘いただいておりますので、そのような形でとり

進めたいと思っております。

○議長（岩館俊幸君） 3番 佐藤悟さん。

○3番（佐藤悟君） ただいま1番の質問につきましては、町長が答弁されたのでこれで理解いたします。

次に、2番に入ります。

北海道新幹線開業に伴う植栽事業及び植樹事業の実施について。

平成27年度の開業に向け、北海道新幹線工事は順調に進められております。また、新幹線駅周辺整備も本格的に工事が始められようとしています。

今後、経験することがないであろう北海道新幹線開業時に、目に見えて記念となる植栽事業や植樹事業を実施すべきと考えますが、町長の見解を伺います。

○議長（岩館俊幸君） 町長。

○町長（大森伊佐緒君） 新幹線開業に伴う植栽等の事業についてのお尋ねでございますが、北海道新幹線につきましては、既に土木工事の大半が終了し、この春からは駅舎の建築も始まるなど、順調に建設工事が進んでおり、改めて開業が迫っていることを実感しております。

町といたしましては、これまでも新幹線木古内駅のデザイン案を木古内高校最後の高校生に選定していただくなど、町民参加型の開業記念事業に取り組んできたところでございます。今後は開業に向けまして、新幹線への関心を喚起するような事業をより積極的に展開していく必要があると考えております。とりわけ、開業の年である平成27年度においては、町民が開業の感動を分かち合い、その記憶を将来にわたり伝え残していけるような記念行事を実施する必要があると認識しておりますので、お尋ねにあります植栽事業や植樹事業につきましても、その一つの方策として十分に検討してまいりたいと考えております。

○議長（岩館俊幸君） 3番 佐藤悟さん。

○3番（佐藤悟君） ただいま町長の答弁をいただきました。この事業につきましては今後十分町長のほうから住民参加のもとに検討してまいりたいというようなご答弁でございました。私も今回のこの植栽事業につきましては、町民こそってこの植栽事業に参加していただければと思っているわけでございますので、小学生から各町内会のご協力を得ながら最低でもやはり1haくらいの植栽があつていいのではないかというふうに考えているわけでございます。それにはやはり植栽となると準備期間が必要だというふうに私は考えています。もう既に準備をしなければ、おそらく27年という開業に間に合わないのではないかというふうなことから、今回一般質問をさせていただいているわけでございます。

1haの植栽となりますと、大変な面積だろうと思うかもしれませんが、やはり町民が後世に残るような事業とすれば最低でもそのくらいは必要であろう。さらには杉、またはヒバ、いろんな事を考えていただければというふうに思っております。

どうかこの事業が町民のご理解を得ながら、実施していただければ大変ありがたい。

以上、私の質問をこれで終わらせていただきます。どうもありがとうございました。